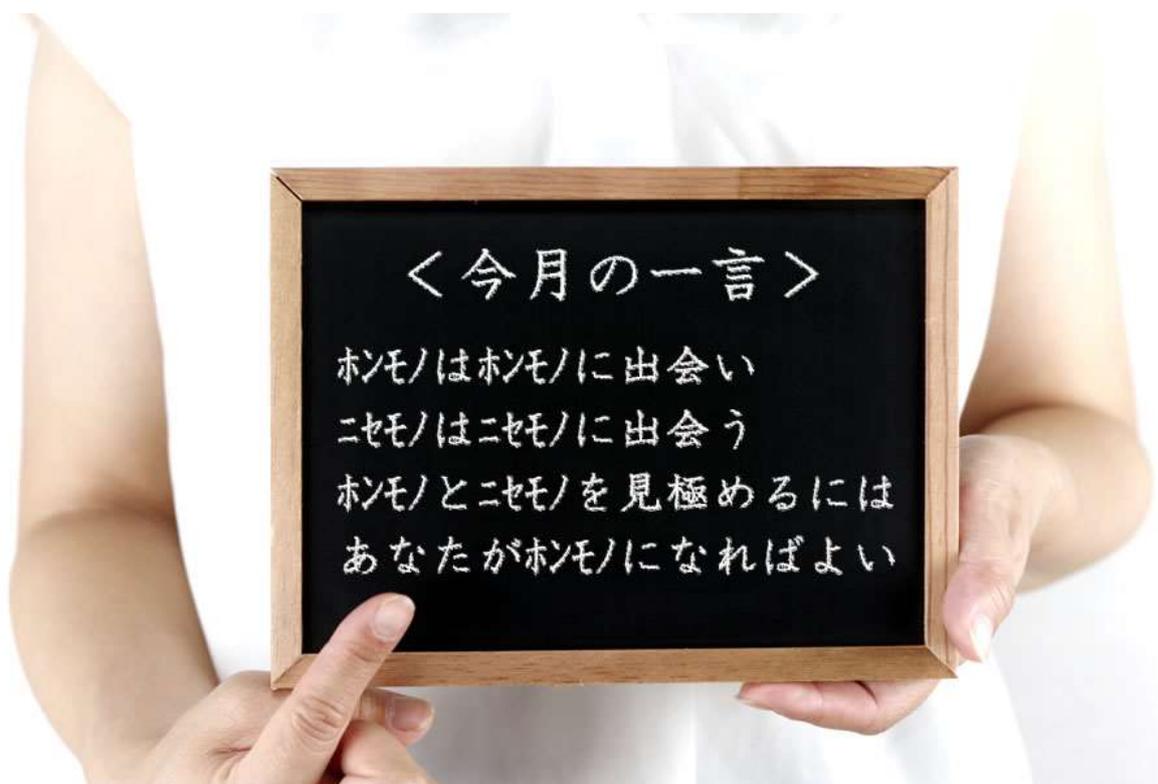


# 太田東西かわら版

おんころころせんだりまとうぎそわか

2022. 2

## ホンモノとニセモノ



世の中にはホンモノとニセモノが存在します。  
では何を持って、ホンモノとするか？ニセモノとするか？

スーパーで買ったイチゴ。甘くて新鮮で美味しいと広告にあったのに  
ちっとも甘くなくて、底の列のイチゴは傷んで腐っていた場合。  
そのイチゴは「ニセモノ」となるのでしょうか。

ニセモノを買わされたことは悔しいですが、命に別状はありません。しかし、  
命に直結する治療方法の選択・決断。そのミスは許されません。

さて、コロナ騒動が始まって、丸2年になります。  
そして今、新型コロナウイルスの変異株であるオミクロンが感染拡大しているというニュースが、さかんに流されています。

政府の対策は

- ・3回目のワクチン接種を推進
- ・症状がなくても濃厚接触者として行動を制限する
- ・飲食店への営業自粛要請
- ・不要不急の外出自粛
- ・マスクの徹底
- ・黙食（おしゃべりせず黙って食べなさい）

果たしてこれは“ホンモノ”“なのでしょうか？

「ニセモノかも」と疑わない人が大半で、従順に守っているのですが先日テレビでアメリカのプロゴルフの試合を見ていたら、ギャラリーの大半はマスクなし。コロナ前の観客人数で大賑わい。かなりの“密”になっていた。

ここ日本よりもコロナ感染者数・死亡者数ともはるかに多いアメリカがなぜこんなにも規制が緩いのか？ アメリカは終息したのか？

一方、こんなニュースも目にしました。  
オミクロン株感染者の7割が「ワクチン接種を済ませた人たち」だった。  
4回目のワクチン接種を早くに済ませたイスラエルでは、予想に反して今も感染者が増え続けているそう。  
ワクチン未接種者よりも接種済者のほうが感染リスクが高いという事実。

ところで・・・そのワクチン  
3回目接種が始まりましたが、何か様子がヘンです。

「打ちたくないのに、打たなきゃいけない」  
「3回目のワクチン、打ちます。仕方がないです、逆らえません」

そんな声が目立っています。

感染予防のための、安心感を得るためのワクチン。  
それが、「職場の方針に逆らえないから仕方なく打つ」という風潮。  
おかしくないですか？

## 「ブレイクスルー感染」

ワクチン接種しても、その効果を  
コロナウイルスがブレイクスルー  
(突破)して再び感染する現象。

「だから、繰り返し繰り返し何度も  
ワクチンは打ち続けましょう！」  
感染症の専門家がもっともらしく  
話していますが……

これって、ホンモノでしょうか？  
真実の情報でしょうか？

私は「ニセモノ」と考えています。

なぜなら、「どんな人がブレイクスルー感染するのか？」  
専門家はワクチンばかり見て、人を見ていないから。

それは“3時間待ちの3分診療”と揶揄される、大病院の診察と同じ。  
医者は検査データばかり見て、患者を見ていない。

ブレイクスルー感染が起きるのは、ワクチン接種の回数が足りないのではなく  
生活習慣や予防意識の欠如に、一番問題があるのではないかと  
「ワクチンを打ちさえすれば感染しないで済む」という、まことに安易な  
知性と教養に乏しい人たちがブレイクスルーしているのではないかと

人類史上初の遺伝子組み換えワクチンを体内に入れるという危険性を、国も  
医者も言わない。相手に十分な説明をせず、相手の意志を尊重せずにワクチン  
接種を推し進めようとする今の政策は“動物実験”と同じではないかと

何も疑わず、迷わずワクチン接種をしている人たちに尋ねます。

「その新薬 (mRNA ワクチン)、確かにホンモノなんですよ？  
ホンモノだと理解判断したから、体内に取り入れるんですね？」



ワクチン推進・肯定派の意見は、テレビ・新聞をはじめたくさん流れていますから、私はワクチン懐疑・否定派見解をここに記しました。

何も疑いもなく、副反応や後遺症の見識もなくワクチンを打っている人は3回目、4回目、5回目、6回目・・・ずっと打ち続けるのでしょうか。それはその人が決めたことですから、私には関係ありません。その人にとって、そのワクチンはきっと“ホンモノ”なのですから。

この2年間のコロナ騒動で私は大きく悩みました。感染のリスクにおびえてビクビク悩んでいた・・・のではありません。

「多くの日本人がメディアに洗脳されている」ということに、です。  
「周りの人たちと同じということに安心する国民性」に、です。

テレビ、新聞、専門家、医者、教授・・・権力・権威にめっぽう弱く情報をすぐに鵜呑みにして、自分の頭で考えようとしない人たちの多さに。

それに懐疑的になれば、「どうしてそう考えるのか？」と質問しようともせず「非国民」「変人」とレッテルを貼り付ける。

国策に反する情報は言論統制して、異を唱える人間を「非国民」とする風潮。それはまるで、“あの頃”に似ています。  
第二次世界大戦。国がニセモノの情報を国民に流していた、あの頃です。

### <ホンモノ（真実）とニセモノ（ウソ）>

ホンモノに出会うためには、ニセモノが必要です。  
光は光の中で見えません。光は暗闇の中で見えるものです。

ニセモノ（闇）のおかげで、ホンモノ（光）が栄える。  
ウソのおかげで、真実を知る。

ニセモノを信じてニセモノで終わるか？  
ニセモノを通じてホンモノになれるか？

それが今、大きく問われている時代だと感じます。